

kawasaki Z1000 Hyper Bank < 取付説明書 >



おもな仕様

◆ チェンジ側・ブレーキ側 ステップホルダー	➢ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ チェンジ側・ブレーキ側 メインホルダー	➢ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ 両側ステップシャフト (可倒式のみ)	➢ ステンレス (耐蝕、耐候性素材)	削り出し
◆ チェンジ側ペダル・ブレーキ側ペダル	➢ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ 両側ペダルピン (可倒式機構付き)	➢ アルミ (ジュラルミン)	鍛造削り出し
◆ チェンジペダルカム	➢ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ ブレーキペダルカム	➢ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ MFJレギュレーション対応 ステップパー (固定式のみ 対応)	➢ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ エクステンション用 シフトチェンジロッド付属。	➢ ステンレス (耐蝕、耐候性素材)	削り出し
➢ 両側ペダルピン、可倒システム採用。	➢ 5 ポジション可変システム	
➢ 各部ボルト、ナット類 耐食、耐候性メッキ処理	➢ ステップパー 固定式仕様に加え、可倒式仕様を新たに設定。	

《 注意 !! 》

取付作業をはじめる前に
必ずお読みください

《 Attention!! 》

- ◆ 本製品の取付作業は、オートバイメーカー発行のサービスマニュアルによる、確かな知識・技術を持ったバイクショップ 又は、販売店に依頼する事をお奨めします。
- ◆ 本製品の取付作業は、エンジン・マフラー・ラジエターなどが、完全に冷えている状態で行ってください。ヤケド等の怪我の原因となります。
- ◆ 製品に加工を施さないで下さい。重大な事故の原因になります。
- ◆ 御客様の装着されているマフラー製品、その他の部品等によって本製品と干渉し、使用できないポジションがありますので、予め御了承下さい
- ◆ 本製品の取付作業終了後、走行の前に、必ず ブレーキの利き具合・引きずりの有無・ブレーキランプの点灯確認・シフト周りのガタツキ 等を確認してください。
- ◆ 本製品の取付作業終了後、初期の段階で各部のボルト・ナット類が緩み易くなっていますので、2～3日走行後必ず増し締めを行ってください。
- ◆ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

◇ 取付作業に入る前に本商品の部品一式が、きちんと揃っているか別紙パーツリストと照らし合わせて確認してください。

ブレーキ側(R)の取り付け

作業中に、ブレーキ周りの部品が、車体やマフラーに傷をつけたりする事がある為、あらかじめ ウェス、古布 等でカバーして当たらないように工夫してください。

ノーマルステップホルダーのリアブレーキマスターシリンダーを止めている純正 M8 ボルトを緩めて、その後にブレーキ側ノーマルステップホルダーを取付けている M10 純正ボルトを緩めてノーマルステップを車体から取り外します。

ノーマルステップ を外した後、純正ブレーキランプスイッチのスプリングを、ラジオペンチ等で取り外します。

その後で、純正ブレーキランプスイッチをノーマルホルダーから外してください。

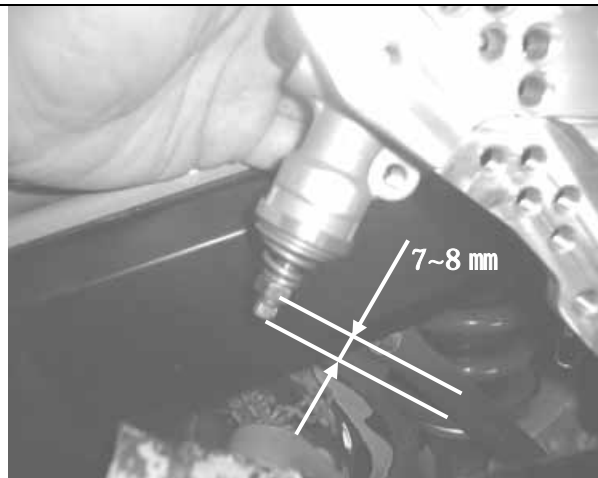
リアブレーキマスターシリンダー の プッシュロッド部の 純正 M8 アジャストナット (2 コ) を緩めた後、ノーマルステップホルダーをホルダー-Assy ごと回してマスターシリンダーから、完全に取り外します。

(純正 M8 アジャストナット (1 コ) を後で使用します)

右図のように、純正マスターシリンダーに

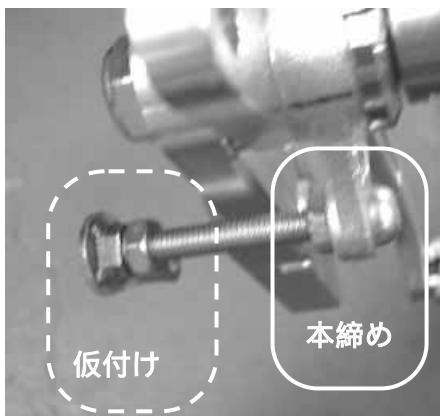
- a) H/B リターンスプリングカラー
- b) ペダルリターンスプリング 10
- c) 純正 M8 アジャストナット(1コ)

の順でプッシュロッドの M8 ネジ部に
取り付ける



マスターシリンダーネジ部と、一番下のナットの下端との距離が約 7~8 mm 程の距離(左図矢印参照)に調整し、KF 8 C ピロボールを仮止めします。

(後で 要再調整)



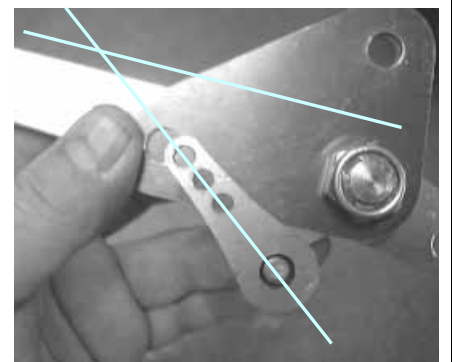
ブレーキペダルのネジ部に丸キャップボルト M6 x 50 を締め込み、裏から左図のように、M6 ジャミナットで本締めして完全に固定します。

そして、スイッチロッドステーと M6 ジャミナットを左図のように、仮付けしておきます。

スイッチロッドステーの角度を、ステーを回してあらかじめセットます。

傾きが決まってからスイッチステー側の M6 ジャミナットを仮締めします。

(右図の角度を参考)

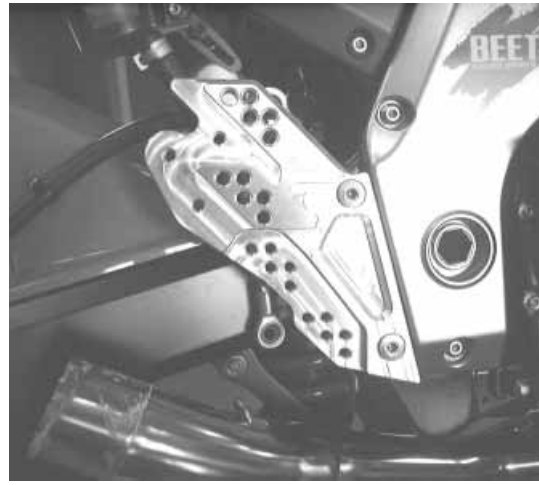


- スイッチロッドステーの本締めの際、スイッチロッドステーごと回りますので、右上図で決めた角度を保つように工夫して本締めして下さい
- M6 ジャミナットをスイッチロッドステーが回らないように押さえながら本締めして下さい。
- リアマスターシリンダーカップをブレーキパーツスライドステーを使用するポジションに応じて位置決めをしておきます。

(右図参照)



ブレーキ側メインホルダーにt=8カラーを挟み、STDボルトで、車体側に取り付け、本締めしておきます。



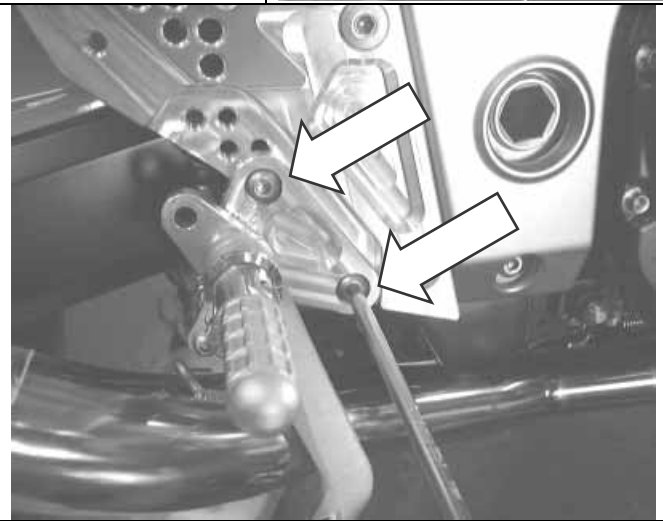
ブレーキランプスイッチをM6丸キャップボルトでスイッチステー台に固定します。

純正のブレーキランプスイッチをスイッチステーの穴に右図を参考にセットしスイッチスプリングもセットしておきます。

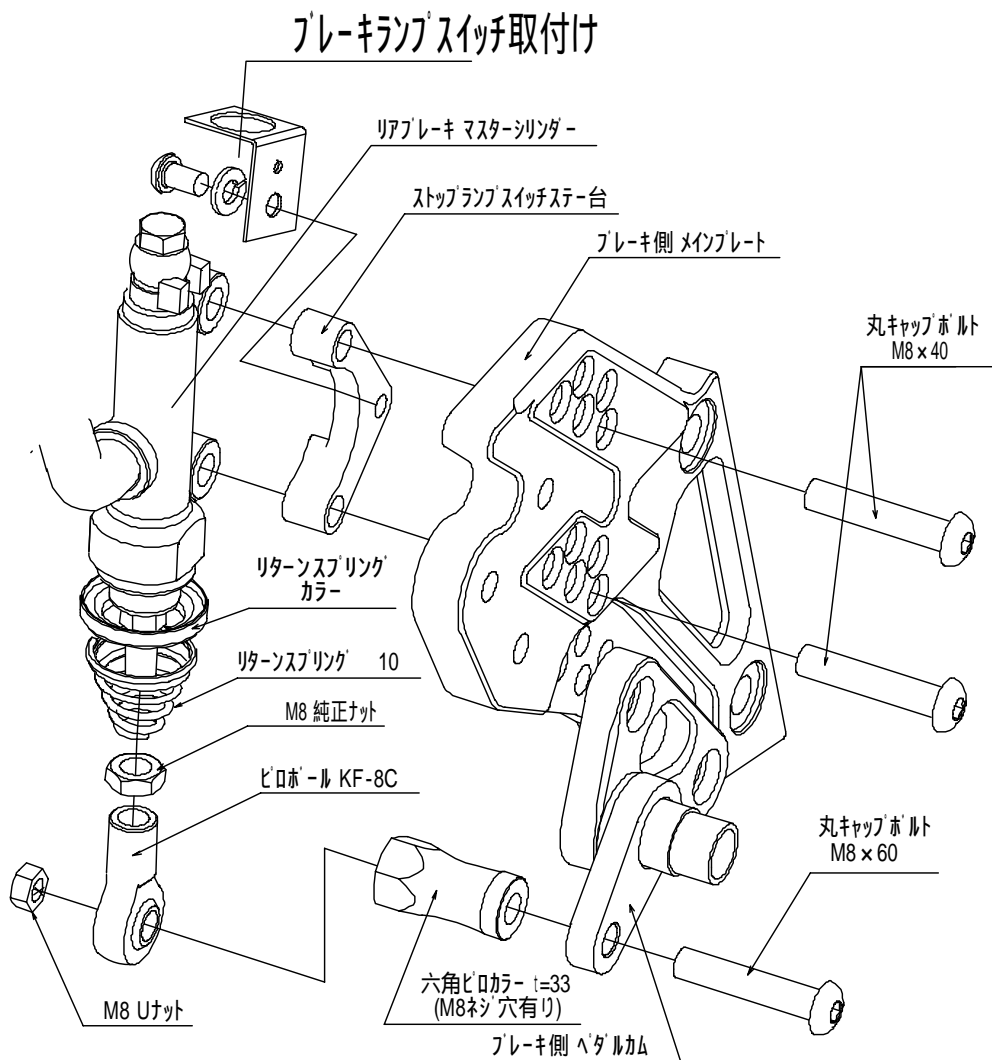


ブレーキ側ステップホルダーをメインホルダーに丸キャップボルト M8×15 で取り付けます。(図矢印)

取付けるポジションは右図のようにスタンダードポジションを選択し、全てを組み終わった後にステップホルダーとリアブレーキマスターシリンダーの取付けボルトのみを外してポジションを移動して下さい。



ブレーキ側メインプレートとステップホルダーの部品構成図



リアブレーキマスターシリンダーを、メインホルダーの裏側から付属のストップランプスイッチステー台をはさんで仮締めします。

リアマスターシリンダーとブレーキペダルのリンク廻りを左図の通りに

- M8×60 ボルト、
- ブレーキペダルカム
- ピロカラー t=33
- ピロボール
- M8 Uナット、

の順で組み付けしておきます。

ブレーキペダルカムとピロカラー(M8 ねじ穴付)は仮締めとし、ピロボールと M8U ナットも仮締めとします。

ブレーキペダルの角度は、最初からあまり極端な角度にセットせず、ノーマルと同じ程度の垂れ角をセットすることをお勧めします。

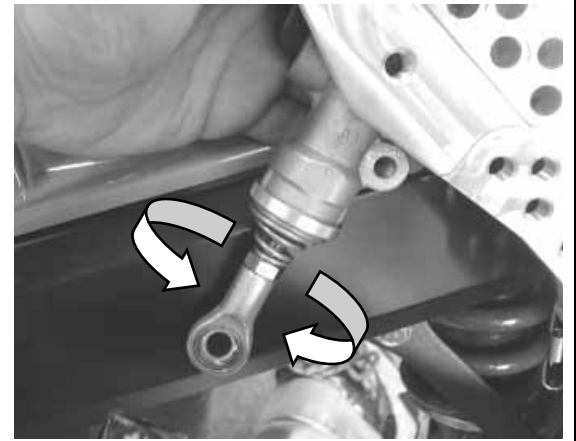
ブレーキスイッチのアジャストナットを回してブレーキスイッチスプリングがブレーキスイッチの先を軽く引っ張る程度に調整しておきます。

ブレーキランプの点灯するタイミングを見ながら、純正ブレーキスイッチのアジャストナットを回し、ブレーキランプの点灯を確認しながらブレーキスイッチの引き加減を調整します。

そして、ブレーキペダルの角度が合わない場合は、ブレーキペダルカムとピロボールを固定している M 8 ボルト をブレーキペダルカムから取外して、ピロボール自体を回転させて行います。

➤ ペダルが 上向き すぎる場合は...
ピロボールを少しずつ 閉めて ペダルの先端を 下げます

➤ ペダルが 下向き すぎる場合は...
ピロボールを少しずつ 緩めて ペダルの先端を 上げます



ブレーキランプの点灯の調整と、ブレーキペダルの垂れ角を調整したら

➤ ブレーキペダルカムとピロカラーのネジを締めてペダルカムにピロカラーを完全に固定します

➤ 角度調整後、ピロボールをブレーキカムにM 8 丸キャップボルトとM8 Uナットで固定したあとに、プッシュロッド部の純正M 8 アジャストナットを本締めします。

➤ M8 マスターシリンダー取付ボルトを本締めしてその他のボルトの増し締め及び確認作業を行って下さい。

◇ ブレーキ側の取付けの最後に...

H/B ブレーキ側の取付け確認して各部の増し締めを行って下さい。

LH (チェンジ側) の取り付け

チェンジ側ノーマルステップの 純正チェンジカム、ピロボール を止めている、純正 M6 六角ボルト、ナットを緩め、純正チェンジカム、純正シフトチェンジロッド を 車体 から外します。 純

➤ ノーマルステップを車体に固定している純正 M1 0 ボルトを外しノーマルステップを車体から外します。

純正チェンジカムを止めている、純正 M6 六角ボルトは後で使用します。

チェンジ側メインホルダーに t 8 カラーを挟み S T D ボルトで車体側に取付け、本締めします。
(左図参照)



H/B チェンジ側ステップホルダーをチェンジ側メインホルダーに取付け、丸キャップボルト M8×15 で本締めします。(右図参照)



No15 チェンジカム を エンジン側 の シフトチェンジシャフトに
ピロボール が 下側 になるように 取付け、右図のように組み付けます。
(純正チェンジカムボルト使用)

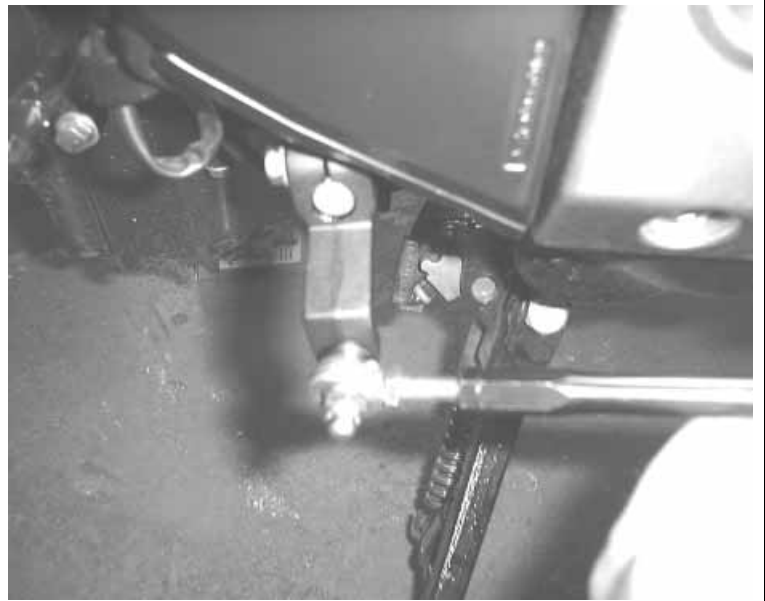
エクステンションロッドは設定するポジションやペダルの垂れ角
によって使い分けて下さい。

付属のステンレスエクステンションロッドを選択するときは、

- ステンレスロッドの前端 M6 正ネジ
- ステンレスロッドの後端 M6 逆ネジ
- チェンジペダルのピロボール M6 逆ネジ の

それぞれの部分のネジのかかり量が 必ず 5~10mm 以上 になるように 注
意して調整して下さい。

チェンジロッドの脱落等の原因になります。！！



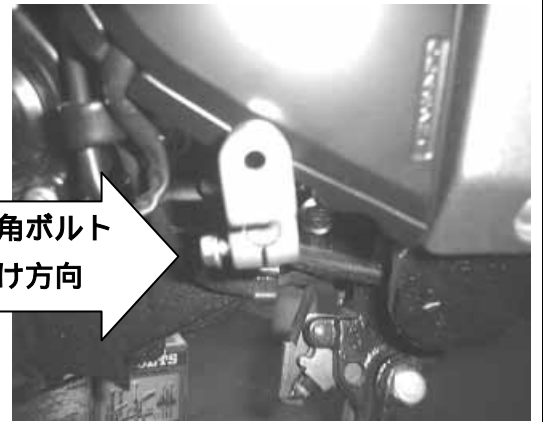
~ 逆チェンジ仕様にする場合は ~

オプションの チェンジカム No4 を購入して下さい。

右図のようにチェンジカムを 約 180 度 逆向きに取付け、正チェンジ時と同様に
組み付けて下さい。

アルミチェンジロッドも回してお好みのペダルの垂れ角に調整して、
ペダル位置が決またら M6 ジャミナットを閉めてロックして下さい。
シフトチェンジ操作に不具合が無いか確認して下さい。

純正六角ボルト
取付け方向



ペダルの角度の調整、チェンジカム・チェンジペダルカム・ピロボールの取り付けがおかしくないかを確認してから、

- エンジン側チェンジカムとエンジンのシフトチェンジシャフトを仮締めしている純正六角 M6 ボルトを 本締め する。
- チェンジペダルカムとピロボールを 仮締め している 丸キャップボルトを M6 U ナットで 本締め する。

停車状態で、シフトチェンジ操作を 2~3 度行って、シフトフィールを確認しながらペダルの角度を再度確認して下さい。

◇ チェンジ側の最後に...
H/B チェンジ側の取り付け再確認をして各部の増し締めをして下さい。

タンデムブラケット と サイレンサーステー の取付け

左右の H/B タンデムブラケット の ステップブラケット に
純正タンデムステップバー 等の付いている部品を
そのまま移植するような形で取付けて下さい。

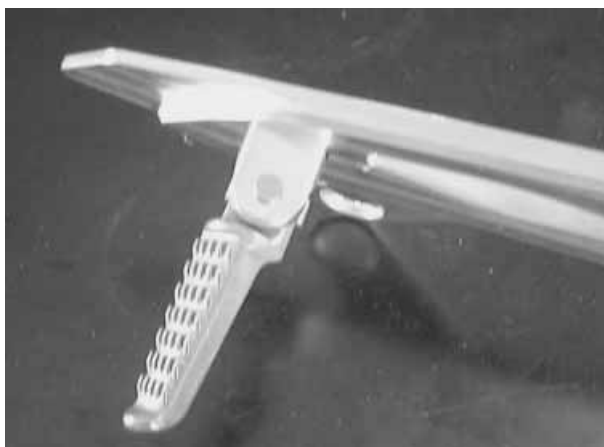
(付けはずしの際、部品が飛び散りますので
なくさないように注意して扱って下さい)

➢ ノーマルマフラー装着時
(ナサートマフラー装着時も使用)

左右の H/B タンデムブラケット の裏側に
付属のサイレンサーステーのザグリ を表側に
向けて 下図 の様に 下側のネジ穴 に
丸キャップボルト M8×10 で仮締めを
して下さい。


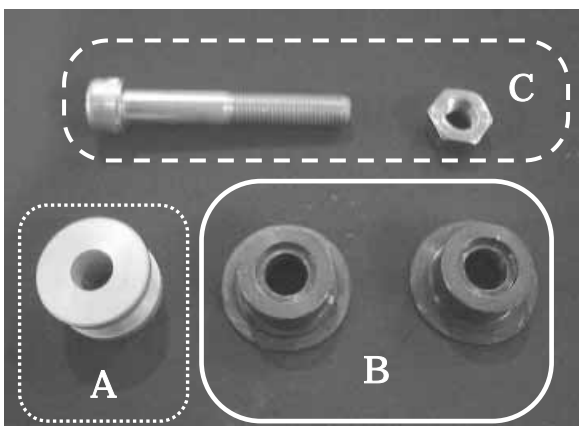
➢ ナサートマフラー装着時のみ
UPスタイルでの装着が可能です

左右の H/B タンデムブラケット の裏側に付属の
サイレンサーステーを 左図の同じく取付け 上側の
ネジ穴 に 丸キャップボルト M8×10 で仮締めを
して下さい。

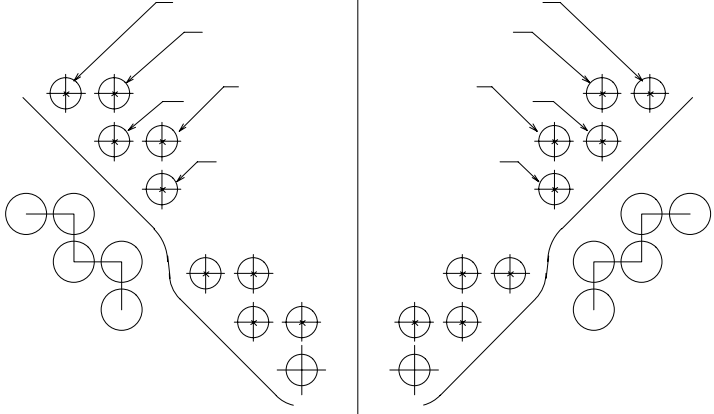
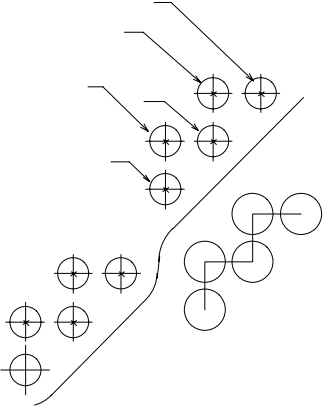


タンデムブラケットの裏側から見た図



<p>タンデムブラケットの取付</p> <p>タンデムブラケット Assy をメインホルダーに M8×15 ボルト 3 本で仮締めします。</p>	<p>STD マフラーを取付ける場合</p> <p>マフラスターにパーツリスト通りにアルミカラー(下図)を、純正ダンパーカラー(右下図 B)を 表と裏から挟み純正マフラーサイレンサースターを取付けます。</p>	<p>ナサートマフラーを取付ける場合</p> <p>STD マフラー取付時(左図)の部品構成にアルミカラーSET(下図 A)をタンデム外側に重ねてナサートサイレンサーを取付けてナサートマフラーに付属の M10 ボルトと M10U ナット(下図 C)で仮締めします。</p>
		
<p>➤ タンデムブラケット Assy、サイレンサースター等の部品構成を確認して(ナサート装着時は間合などを十分確認して)サイレンサーの取付、スターの取付、タンデムブラケットの取付を本締めします。</p>		
<p>➤ 取付後の走行後、または定期的になに必ず増し締めを行って下さい。</p>		

ポジションチェンジについて

	<i>BACK</i>	<i>UP</i>		
<i>Pos. 1</i>	<i>STD</i>	<i>STD</i>		
<i>Pos. 2</i>	<i>STD</i>	<i>1 2 mm</i>		
<i>Pos. 3</i>	<i>1 2 mm</i>	<i>1 2 mm</i>		
<i>Pos. 4</i>	<i>1 2 mm</i>	<i>2 4 mm</i>		
<i>Pos. 5</i>	<i>2 4 mm</i>	<i>2 4 mm</i>		

》 注意点 《

- ◇ 取付けるマフラーによって、選択できないポジションが有りますので御了承下さい。
- ◇ ブレーキ・チェンジ両ペダルの垂れ角の範囲は、ある程度、選択が可能ですですが極端な変更は安全な操作の妨げとなりますので、十分注意してください。
- ◇ 必ず、ご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じである事を確認して下さい。
- ◇ 取り付けが終了し、何度か走行された後に、各部のネジを軽く増し締めすることをお奨めします。
- ◇ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

<p>弊社製品に関するお問い合わせは、</p> <p>TEL 072 (257) 7600 FAX 072 (259) 6600</p> <p>(株) 日本ビート工業 まで</p>	<p>➤ ホームページ URL http://www.beet.co.jp/</p> <p>➤ 商品関連 e-mail アドレス sales@beet.co.jp</p> <p>➤ 技術関連 e-mail アドレス support@beet.co.jp</p>	<p>BEET Web site</p> <p>Web サイトを開設しております。 左記 URL にてご覧下さい。</p>
--	---	--